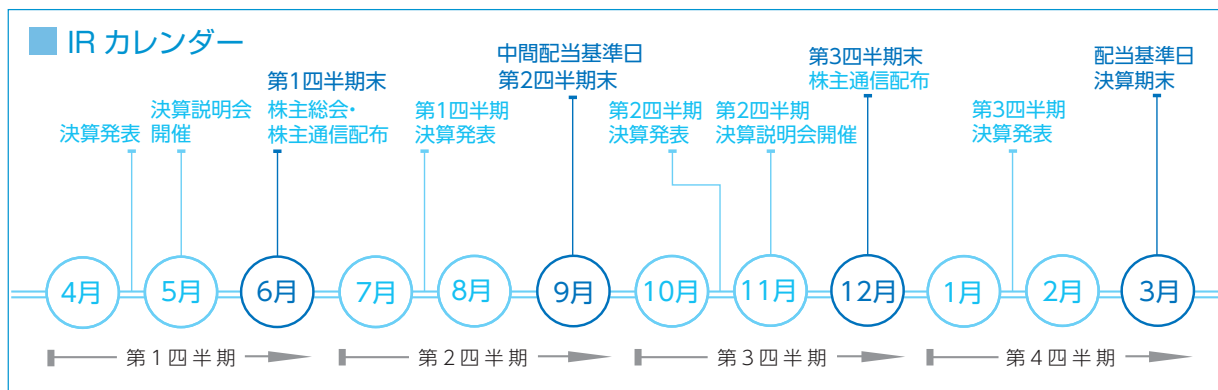


## 当社ホームページのご紹介

当社では、IR専用のホームページを設けて、決算情報等のIR関連の情報をタイムリーに配信しております。また、株主・投資家の皆さま専用のお問い合わせフォームもございますので、お気軽にご利用ください。

トップページのアドレスはこちらです。

<http://www.nicho.co.jp/>



## 日本調剤株式会社

〒100-6737  
東京都千代田区丸の内 一丁目9番1号  
グラントウキョウノースタワー37階  
TEL.03-6810-0800 (代表)  
FAX.03-5288-8688

**UD FONT**

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。



## 日本調剤株式会社

証券コード：3341

平成27年3月期  
**株 主 通 信**  
平成26年4月1日から平成27年3月31日まで



# 日本の調剤薬局



# 日本調剤



株主の皆さまには、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。当社第35期(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)における営業概況と今後の戦略につきましてご報告申し上げます。

当期は2年に一度の薬価及び調剤報酬の改定年度にあたり、消費税率の引き上げとも相俟って厳しい経営環境にありましたが、ジェネリック医薬品の使用促進や、在宅医療の推進等に従来にも増して積極的に取り組んだ結果、最高益を更新することができました。

社会保障に関連する各種制度改革の検討が急ピッチで進められ、医療・医薬品業界を取り巻く環境は大きな転換点を迎えようとしています。当社グループとしてはこのような大きな環境変化を乗り越え、さらなる飛躍に向けた強固な企業基盤を構築すべく、このたび「第4期中期経営計画」を策定・推進することといたしました。

株主の皆さまの期待に応える企業として今後も成長してまいります。引き続き当社経営に対するご理解・ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 **三津原 博**

<h3>調剤薬局事業</h3> <p>門前型/面対応型/メディカルセンターなど多様な形態で全都道府県に出店</p>	<h3>情報提供・コンサルティング事業</h3> <p>保有する膨大なデータを国民生活の向上に資する価値あるものへ</p>	<h3>医薬品製造販売事業</h3> <p>国内トップレベルのジェネリックメーカーへ</p>	<h3>医療従事者派遣・紹介事業</h3> <p>医療従事者総合人材サービス事業を全国展開</p>
---	---	--	---

<h3>調剤薬局店舗数</h3> <p>(平成27年3月末現在)</p> <p><b>511</b> 店舗 (当期) 出店数 <b>29</b> 店舗</p>	<h3>処方せん枚数</h3> <p>(平成27年3月期)</p> <p>約 <b>1,170</b> 万枚 (対前年) 増加枚数 <b>60</b> 万枚</p>	<h3>販売品目数</h3> <p>(平成27年3月末現在)</p> <p><b>561</b> 品目 (当期) 新規収載品目数 <b>20</b> 品目</p>	<h3>Webエントリー数</h3> <p>(平成27年3月期)</p> <p>約 <b>8,000</b> 人 (前期比) <b>17.9%</b> 増</p>
---	--	---	---

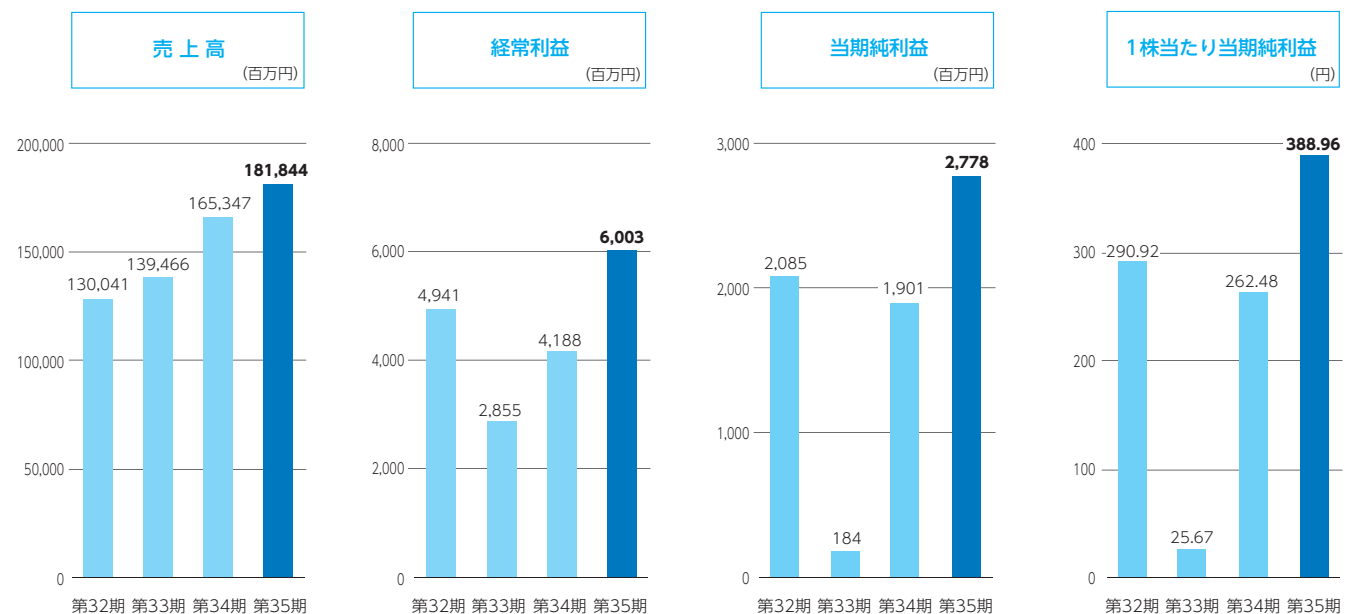
※ 物販専業の1店舗を含めております。

平成27年3月期業績	平成27年3月期業績	平成27年3月期業績
<p>売上高 <b>1,579億99</b> 百万円 (前年比8.3%増↑)</p> <p>売上高構成比 <b>82.3%</b></p>	<p>売上高 <b>275億50</b> 百万円 (前年比18.8%増↑)</p> <p>売上高構成比 <b>14.3%</b></p>	<p>売上高 <b>65億54</b> 百万円 (前年比29.9%増↑)</p> <p>売上高構成比 <b>3.4%</b></p>

※ 当社グループでは「調剤薬局事業」、「医薬品製造販売事業」及び「医療従事者派遣・紹介事業」の3つを報告セグメントとしております。セグメント別売上高及び売上高構成比につきましては、セグメント間の内部売上高または振替高を含めた数値を表示しております。情報提供・コンサルティング事業単独での売上高・営業利益等のデータは開示いたしておりません。

## 業績のポイント

- 当期(平成27年3月期)は薬価及び調剤報酬の改定年度で大変厳しい経営環境でしたが、改定の方向性に沿った着実な経営戦略が奏功し、全事業セグメントで増収増益、また**当社グループとして過去最高益を更新**。
- 調剤薬局事業では、29店舗を新規出店。ジェネリック医薬品使用促進による後発医薬品調剤体制加算の積上げが進み、**改定年度ながらも増益を確保**。
- 医薬品製造販売事業では、**事業規模を着実に拡大**。ジェネリック医薬品販売品目数は、新製品20品目を発売する一方、グループ会社間での重複品目を整理した結果、561品目に。
- 医療従事者派遣・紹介事業では、**薬剤師派遣に対する需要が引き続き増大基調**の中、業績は順調に推移。登録者数の増強に向けた着実な取り組みを行うことにより、大幅な増収増益を達成。
- 当期末に**1株当たり35円の配当**を実施させていただきました。これにより年間配当金は中間配当金35円と合わせ、1株当たり70円となりました。
- **来期(平成28年3月期)**は、連結売上高207,523百万円(前期比14.1%増)、営業利益8,200百万円(同23.4%増)、経常利益7,434百万円(同23.8%増)、当期純利益3,583百万円(同29.0%増)、**1株当たりの年間配当金は80円に増配を計画**。



# 日本調剤グループの事業展開

## グループとしてのさらなる発展へ

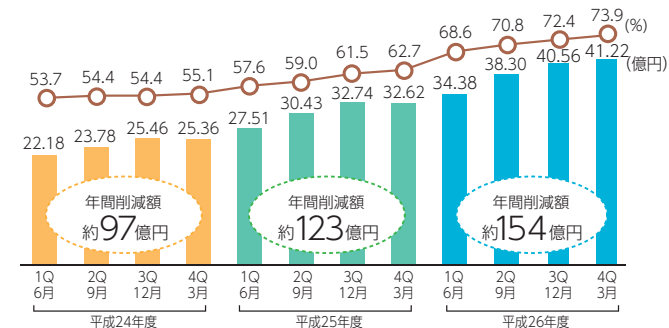
調剤薬局事業

### ジェネリック医薬品普及への取り組み

政府目標を上回るレベルで、ジェネリック医薬品の数量比率が順調に伸長

ジェネリック医薬品の数量比率が平成26年9月に70%の台を突破。その後も順調に上昇を続け、平成26年度末時点では73.9%となっております。

ジェネリック医薬品新基準数量比率及びジェネリック医薬品への変更による薬剤費削減額（当社データ）



### 在宅医療、高齢者施設への取り組み

介護・老人施設サービス、在宅訪問を推進／取引施設数、処方せん枚数ともに着実に増加

在宅患者への訪問による薬剤管理指導を各店舗で推進しています。すでに全国で1,800以上の高齢者施設に訪問し、月間4万枚以上の処方せんをお預りしています。

## 第4期中期経営計画が始動

平成30年3月期 計数計画

売上高 **2,738** 億円

営業利益 **122** 億円

営業利益率 **4.5** %

平成27年3月期(実績)

売上高 **1,818** 億円

営業利益 **66** 億円

営業利益率 **3.7** %

平成26年3月期(実績)

売上高 **1,653** 億円

営業利益 **47** 億円

営業利益率 **2.9** %

### 企業理念

主要目標

(平成30年3月期)

売上高

営業利益

営業利益率

コーポレートガバナンス

### “真の医薬分業”の実現

50%増の達成

倍増

4.5%に引上げ

コーポレートガバナンス・コードの適切な実践による企業価値の向上

※上記数値目標はいずれも連結ベース（セグメント間取引消去後）

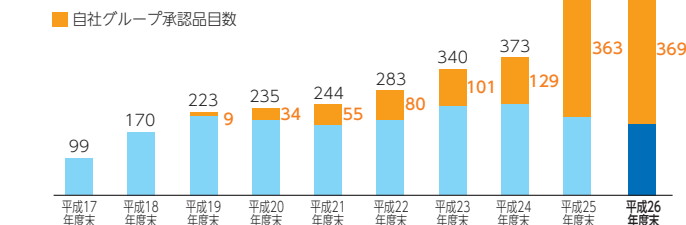
医薬品製造販売事業

### 業界トップクラスの販売品目数

自社グループ承認品目は約7割

当期は合計20品目の新製品を発売し、平成26年度末時点では561品目のラインアップをとっています。平成27年6月には、新たに19品目の薬価収載を予定しています。

販売品目数の推移（品目）



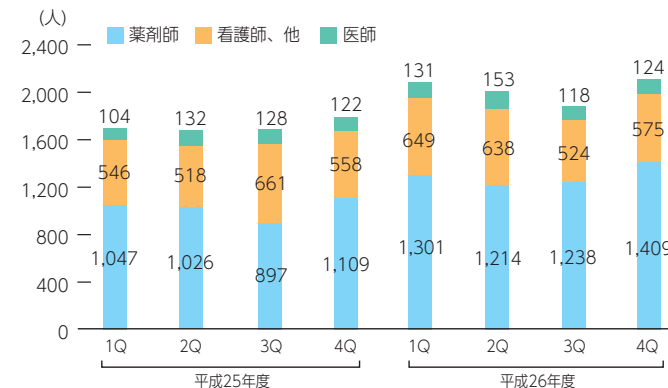
医療従事者派遣・紹介事業

### 総合医療人材サービスの全国展開

登録者数の増強に向け、Webエントリー数も着実に増加

薬剤師派遣・紹介事業のパイオニアとして業界トップクラスの登録者数、実績を誇る。医師・看護師、コメディカル紹介事業における登録者数、紹介実績も着実に上昇。

医療従事者派遣・紹介事業 Webエントリー数（人）



Topics  
1

ジェネリック医薬品生産体制のさらなる強化へ向けて・・・

**日本ジェネリック(株)：つくば工場S棟稼働、春日部工場取得**  
**長生堂製薬(株)：本社第二工場稼働**

当社グループではジェネリック医薬品市場の拡大を見据え、生産設備と製造余力の拡大を積極的に進めております。日本ジェネリック(株)では、平成26年12月につくば工場S棟が稼働、さらに平成27年2月にはテバ製薬(株)より春日部工場を取得。長生堂製薬(株)では、平成27年4月に本社第二工場が稼働。これによりグループ全体の年間最大生産能力を約43億錠にまで押し上げることができました。

今後さらに幅広いニーズへの対応が可能な体制づくりを図ってまいります。



高速打錠機

長生堂製薬(株)

**本社工場**  
所在地：徳島県徳島市国府町



**川内工場**  
所在地：徳島県徳島市川内町



**本社第二工場**  
所在地：徳島県徳島市国府町



日本ジェネリック(株)

**春日部工場**  
所在地：埼玉県春日部市南栄町



**つくば工場 N棟・S棟**  
所在地：茨城県つくば市和台



**つくば第2工場**  
所在地：茨城県つくば市和台



Topics  
2

地域医療に貢献できる薬剤師の育成を目指し・・・

**大学病院と研修制度で連携**

当社では従来の薬剤師教育制度に加えて、旭川医科大学病院において実施した大学病院実務研修制度を、平成27年度から全国の大学病院に拡大し、本格導入することといたしました。

今後、地域包括ケアシステムの構築や在宅医療の推進を背景にこれからの薬剤師に求められる役割を果たすため、大学病院での実務研修制度を通じて薬剤師教育の範囲を広げていきます。

大学病院での実務研修が加わることにより、従来の当社の教育制度では十分でなかった病院での各種業務を習得し、広範囲にわたる薬剤業務を身につけることで、在宅医療や地域医療へ一層の貢献を果たすことができる薬剤師の育成を目指してまいります。



大学病院研修 無菌調剤を実践

Topics  
3

在宅医療を担う薬剤師育成へ・・・

**日本調剤「在宅医療集合研修」を全国で開催**

我が国において超高齢社会が急速に進む中、当社では、積極的に在宅医療を推進し、全店舗での在宅医療への取組みを早期に実現するために、在宅医療に貢献する薬剤師の早期育成を図るための取組みとして、全国規模で「在宅医療集合研修」を実施しています。平成26年度は、「経腸経管栄養療法」をテーマに、全国15会場で17回実施し、当社薬剤師の約1/5にあたる486名が受講、在宅医療についての基礎的な知識・技能を学びました。本研修では、講義形式に加え、薬剤の使用方法や、医療機器・設備などの取扱いについて実習を行いました。

当社では、地域社会に役立つ医療人としての薬剤師の育成に、引き続き全力で取り組んでまいります。



在宅医療集合研修

Topics  
4

いつものお薬手帳にスマホの特徴をプラスして・・・

## 電子版お薬手帳 お薬手帳+プラスを開発

平成26年10月から当社では、独自に開発した電子版お薬手帳「お薬手帳プラス」のサービス運用を開始いたしました。「お薬手帳プラス」は従来の紙のお薬手帳の機能を最大限生かしながら、インターネット環境を活用し最新機能を搭載した情報提供サービスで、患者さまご自身の服薬情報や各種健康管理に便利な様々なサービス機能を、スマートフォンやパソコン上で利用することができます。日々の健康管理にも役立つ「お薬手帳プラス」をどうぞご利用ください。

■「お薬手帳プラス」紹介ページ  
<http://www.nicho.co.jp/okusuripius/>



紙のお薬手帳にスマホの特徴をプラスしてもっと便利に！



紙のお薬手帳

### 処方せんとお薬の管理

- 飲み合わせや薬の重複をチェック
- お薬の副作用歴や病歴がわかる
- アレルギーの有無の確認
- 緊急時にお薬情報が正確に伝わる



お薬手帳+プラス

### お薬手帳の補助機能+健康管理

- ジェネリック医薬品の有無と差額計算
- カレンダーで通院日などチェック
- アラームでお薬の飲み忘れを防止
- 健康記録とヘルスケア機器の自動連携

お薬の管理だけでなく日々の健康管理も加わり、さらに健康な生活へ。

Topics  
5

調剤薬局としての“想い”を込めて・・・

## 日本調剤のテレビCMを制作

日本調剤のテレビCM

「安心して長生きできる国へ」編

このたび当社では初の企業CM作品を制作し、平成27年3月1日より3月22日まで、関東地区のテレビ局（TBSテレビ、テレビ東京）でスポットCMを放送いたしました。今回制作したテレビCM「安心して長生きできる国へ」編（30秒）では、超高齢社会へ突入し、調剤薬局・薬剤師へ寄せられる期待が高まる今、日本全国に展開する調剤薬局として、各地の地域社会へ広く貢献していくという当社の“想い”を表現しています。

なお本CMは既に放送が終了しておりますが、当社ホームページからご覧いただくことができます。



⇓  
⇓  
⇓  
こちらでもご覧いただくことができます。

■ 当社ホームページ  
<http://www.nicho.co.jp/>

■ YouTube動画  
<https://www.youtube.com/watch?v=YU1eVGYH2Ck>



# 連結財務諸表

連結貸借対照表

連結貸借対照表			単位：百万円		
科目	当期末 (平成27年3月31日現在)	前期末 (平成26年3月31日現在)	科目	当期末 (平成27年3月31日現在)	前期末 (平成26年3月31日現在)
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
① 流動資産	60,096	53,373	④ 流動負債	53,474	55,666
現金及び預金	13,952	15,429	支払手形	—	2,102
受取手形	321	1,015	買掛金	31,306	26,861
売掛金	20,001	17,395	電子記録債務	2,086	—
電子記録債権	1,091	254	短期借入金	5,100	7,750
商品及び製品	15,911	12,165	1年内償還予定の社債	—	7,000
仕掛品	1,377	751	1年内返済予定の長期借入金	6,069	3,889
原材料及び貯蔵品	3,778	3,480	リース債務	421	263
繰延税金資産	1,138	1,233	未払法人税等	1,625	1,507
その他	2,534	1,655	賞与引当金	2,080	1,793
貸倒引当金	△10	△8	役員賞与引当金	98	74
② 固定資産	70,044	63,921	売上割戻引当金	130	102
有形固定資産	48,819	42,123	資産除去債務	9	4
建物及び構築物	18,648	13,990	その他	4,546	4,316
機械装置及び運搬具	4,874	2,536	⑤ 固定負債	59,031	45,779
土地	17,043	15,318	社債	7,000	7,000
リース資産	853	784	長期借入金	46,184	35,165
建設仮勘定	4,798	7,076	リース債務	1,648	968
その他	2,601	2,417	役員退職慰労引当金	886	907
無形固定資産	10,376	11,103	退職給付に係る負債	917	915
③ 投資その他の資産	10,848	10,694	資産除去債務	682	659
資産合計	130,141	117,295	長期割戻未払金	1,471	—
			その他	240	162
			負債合計	112,505	101,446
			<b>純資産の部</b>		
			株主資本	17,515	15,845
			資本金	3,953	3,953
			資本剰余金	4,754	4,754
			利益剰余金	11,868	9,310
			自己株式	△3,059	△2,171
			その他の包括利益累計額	119	3
			その他有価証券評価差額金	333	237
			退職給付に係る調整累計額	△213	△234
			純資産合計	17,635	15,849
			負債純資産合計	130,141	117,295

## ① Point

- ① 流動資産は、前連結会計年度末の53,373百万円に対し、12.6%、6,722百万円増加し、60,096百万円となりました。その主な要因は、商品及び製品の増加3,746百万円、売掛金の増加2,606百万円などによるものであります。
- ② 固定資産は、前連結会計年度末63,921百万円に対し、9.6%、6,123百万円増加し、70,044百万円となりました。うち、有形固定資産は、前連結会計年度末42,123百万円に対し、15.9%、6,696百万円増加し、48,819百万円となりました。その主な要因は、調剤薬局事業における新規出店展開、医薬品製造販売事業における設備投資及び事業譲受によるものであります。また、無形固定資産は前連結会計年度末11,103百万円に対し、△6.5%、727百万円減少し、10,376百万円となりました。
- ③ 投資その他の資産は、前連結会計年度末10,694百万円に対し、1.4%、154百万円増加し、10,848百万円となりました。
- ④ 流動負債は、前連結会計年度末55,666百万円に対し、△3.9%、2,192百万円減少し、53,474百万円となりました。変動の主な要因は、1年内償還予定の社債の減少7,000百万円によるものであります。
- ⑤ 固定負債は、前連結会計年度末45,779百万円に対し、28.9%、13,252百万円増加し、59,031百万円となりました。その主な要因は、長期借入金の増加11,018百万円でありました。

連結損益計算書

連結損益計算書			単位：百万円	
科目	当期 (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)	前期 (自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)		
売上高	181,844	165,347		
売上原価	149,915	139,723		
売上総利益	31,929	25,623		
販売費及び一般管理費	25,281	20,878		
営業利益	6,647	4,744		
営業外収益	693	508		
営業外費用	1,337	1,064		
経常利益	6,003	4,188		
特別利益	5	22		
特別損失	477	235		
税金等調整前当期純利益	5,531	3,975		
法人税、住民税及び事業税	2,705	2,147		
法人税等調整額	47	△41		
少数株主損益調整前当期純利益	2,778	1,870		
少数株主損失(△)	—	△31		
当期純利益	2,778	1,901		

連結株主資本等変動計算書 (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額	
平成26年4月1日残高	3,953	4,754	9,310	△2,171	15,845	237	△234	3	15,849
会計方針の変更による累積的影響額			283		283				283
会計方針の変更を反映した平成26年4月1日残高	3,953	4,754	9,594	△2,171	16,129	237	△234	3	16,132
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当			△504		△504				△504
当期純利益			2,778		2,778				2,778
自己株式の取得				△1,019	△1,019				△1,019
自己株式の処分				131	131				131
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						95	20	116	116
連結会計年度中の変動額合計	—	—	2,273	△887	1,386	95	20	116	1,502
平成27年3月31日残高	3,953	4,754	11,868	△3,059	17,515	333	△213	119	17,635

連結包括利益計算書

連結包括利益計算書			単位：百万円	
科目	当期 (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)	前期 (自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)		
少数株主損益調整前当期純利益	2,778	1,870		
その他の包括利益	116	△112		
その他有価証券評価差額金	95	△112		
退職給付に係る調整額	20	—		
包括利益	2,894	1,758		
(内訳)				
親会社株主に係る包括利益	2,894	1,789		
少数株主に係る包括利益	—	△31		

連結キャッシュ・フロー計算書

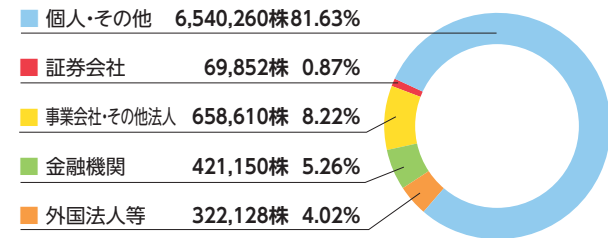
連結キャッシュ・フロー計算書			単位：百万円	
科目	当期 (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)	前期 (自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)		
① 営業活動によるキャッシュ・フロー	5,831	6,243		
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,437	△14,510		
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,422	8,782		
現金及び現金同等物の増減額	△1,183	514		
現金及び現金同等物の期首残高	15,027	14,513		
② 現金及び現金同等物の期末残高	13,844	15,027		

- ① 営業活動によるキャッシュ・フローの主要な収入項目は、税金等調整前当期純利益5,531百万円、仕入債務の増加4,422百万円でありました。他方、たな卸資産の増加額4,545百万円が主要な支出項目であります。
- ② 現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末に比べ1,183百万円減少し、13,844百万円となりました。

株式状況

発行可能株式総数	22,096,000株
発行済株式の総数	8,012,000株
株主数	5,045名

所有者別株式分布状況



(注) 1. 当社所有の自己株式1,000,444株については、個人・その他に含めております。  
2. 比率については、小数点第3位を四捨五入しております。

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
三津原 博	2,340,000	29.20
三津原 庸介	1,660,000	20.71
有限会社マックスプランニング	560,000	6.98
日本調剤従業員持株会	251,950	3.14
三津原 陽子	200,000	2.49
三津原 恵子	200,000	2.49
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	105,900	1.32
MSCO CUSTOMER SECURITIES	105,900	1.32
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	76,900	0.95
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	50,780	0.63

(注) 1. 当社所有の自己株式1,000,444株は上記大株主から除いております。  
2. 出資比率については、小数点3位以下を切り捨てしております。

株主メモ

● 事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日
● 期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
● 中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
● 定時株主総会	毎年6月
● 株主名簿管理人 特別口座の管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
● 同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 ☎ 0120-232-711 (通話料無料)
● 上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
● 公告の方法	○電子公告 公告掲載URL <a href="http://www.nicho.co.jp/">http://www.nicho.co.jp/</a> ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告します。

(ご注意)  
1. 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。  
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。  
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

会社概要

商号	日本調剤株式会社
設立	昭和55年3月
本社所在地	〒100-6737 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号 グラントウキョウノースタワー37階 03-6810-0800(代表)
資本金	39億5,302万円
連結売上高	1,818億円(平成27年3月期)
従業員数	正社員2,566名 パート他680名 ※パート他は8時間換算に基づく 平均雇用人数であります。
事業形態	保険調剤薬局チェーンの経営

取締役	代表取締役社長	三津原 博
	常務取締役	鎌田 良樹
	常務取締役	見田 元
	取締役	宮田 徳昭
	取締役	鈴木 重夫
	取締役	小柳 利幸
	取締役	深井 克彦
	取締役	三津原庸介
監査役	監査役	中川 義雄
	監査役(非常勤)	薄金孝太郎
	監査役(非常勤)	長嶋 隆

日本調剤ネットワーク

- 本社 (東京都千代田区)
- 札幌支店 (札幌市中央区)
- 東北支店 (仙台市青葉区)
- 東京1・2・3支店(東京都千代田区)  
東関東支店 (東京都千代田区)  
北関東支店 (東京都千代田区)
- 横浜支店 (横浜市西区)
- 名古屋支店 (名古屋市西区)
- 京都支店 (京都市下京区)
- 大阪支店 (大阪市北区)
- 神戸支店 (神戸市中央区)
- 広島支店 (広島市中区)
- 九州支店 (福岡市中央区)

